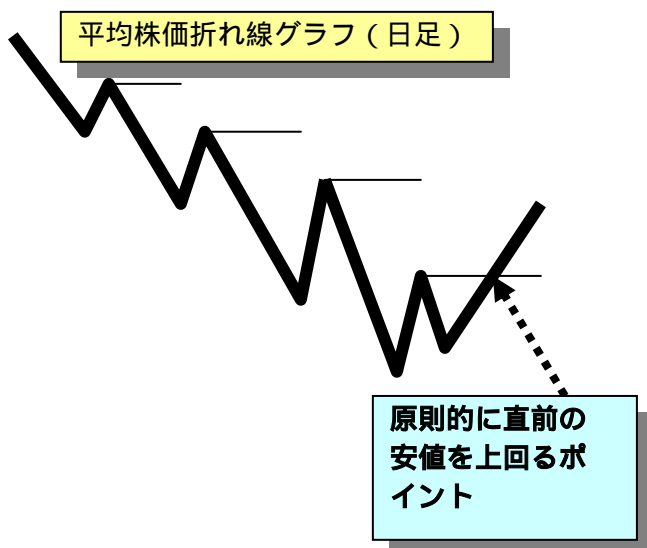


貴方が儲かっていないとしたら

その時まで待てなかった

そしてその時とは・・・



左のチャートの高値を切り下げている期間は、例えどんな耳よりな情報を聞いても株に手を出さない強い意思さえあれば投資成果は見違えるように向上します。

平均株価の折れ線グラフは日経平均でもトピックスでも2部平均でもかまいません（理論的には合理的に組み合わせられたものであれば自作の平均株価でも結構です）

（折れ線グラフの作り方は前号で解説してあります）

その時買う勇気がなかった

何故買う勇気がでないのか？

他人の意見に従って投資していたので高値掴みの株は持っているが新規に買う資金がない。

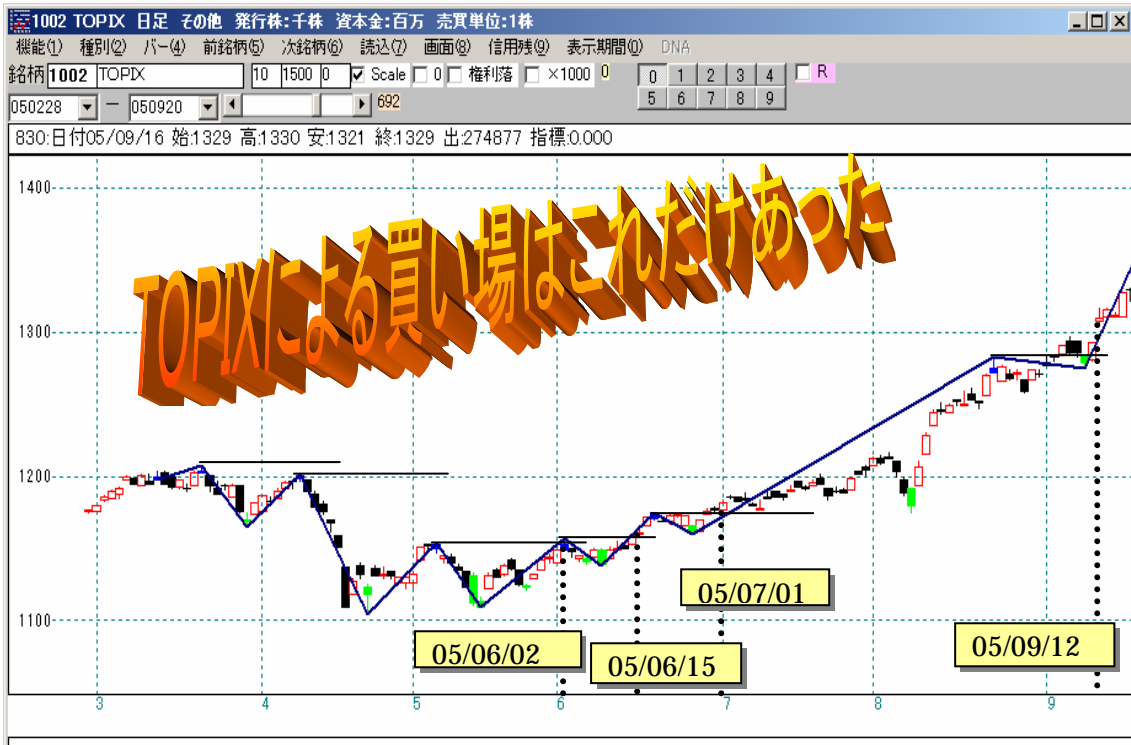
買う度に損をしているのでこのポイントでリスクを取る勇気がでない。

J・P法を知らなかった

必要なのはほんのちょっとしたコツ

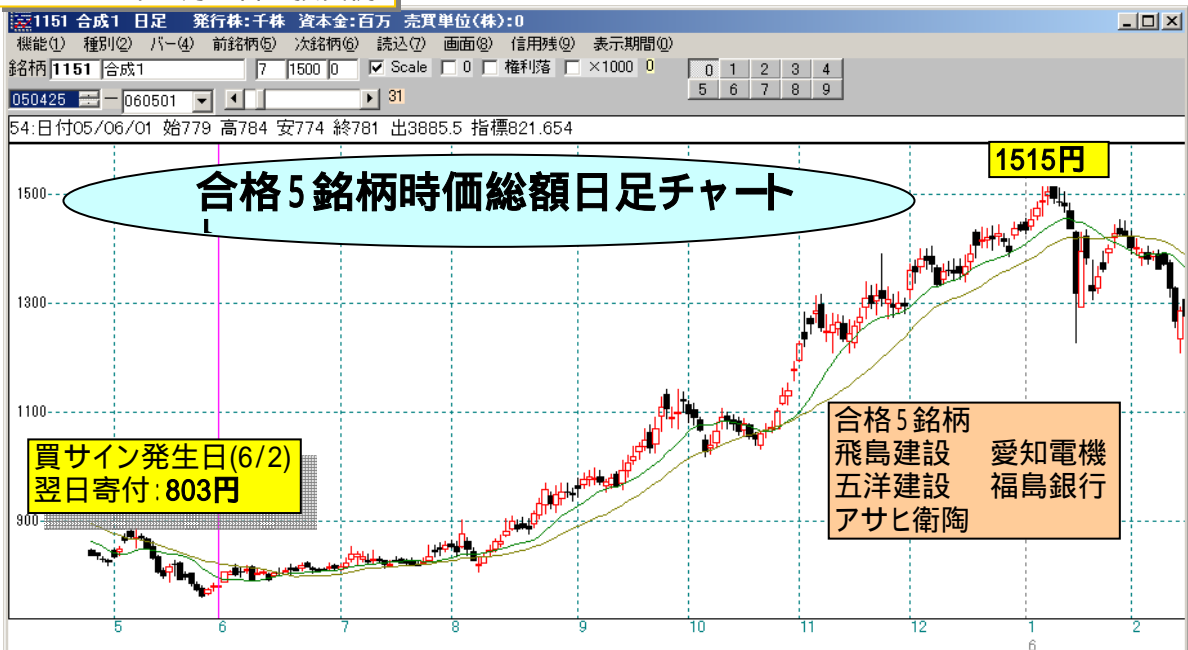
リポビタンやグロンサンなどの健康ドリンクの名前は知っているが本当に自分の病気に効く専門医の処方する薬品名は知らないものである。

故に多少でも本当に効く処方薬の知識を有する人はそうでない人（J・P法を知らない人）よりはるかに有利な立場に立てる理屈になる。



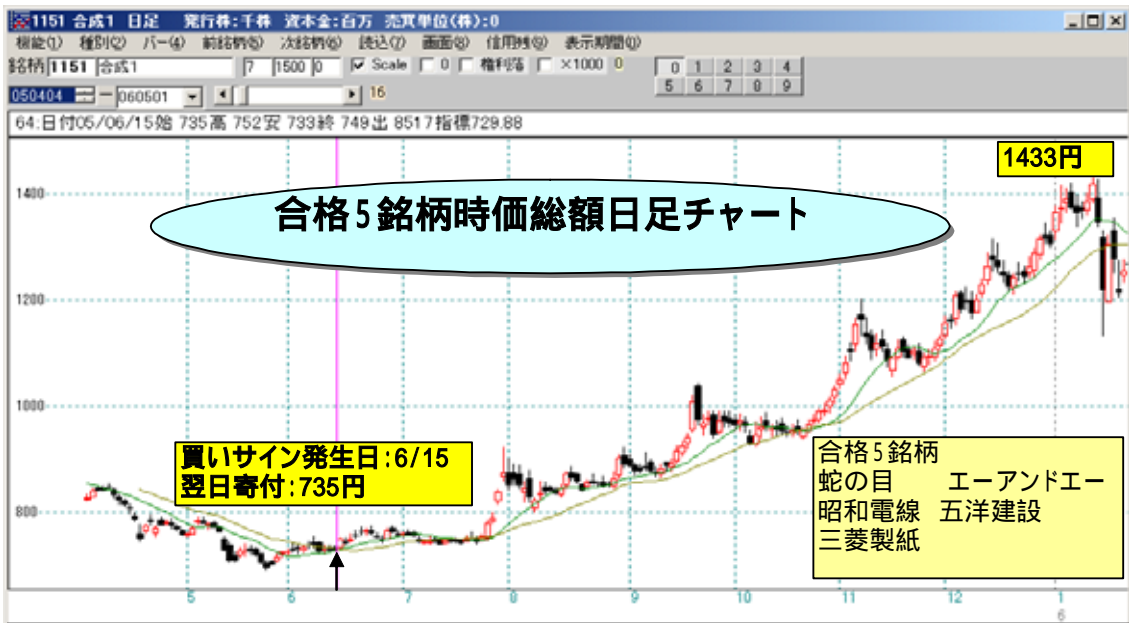
その時まで待てれば儲けは簡単！！ (前回は日経平均で解説、今回はT O P I Xで解説)

2005年6月2日の投資例

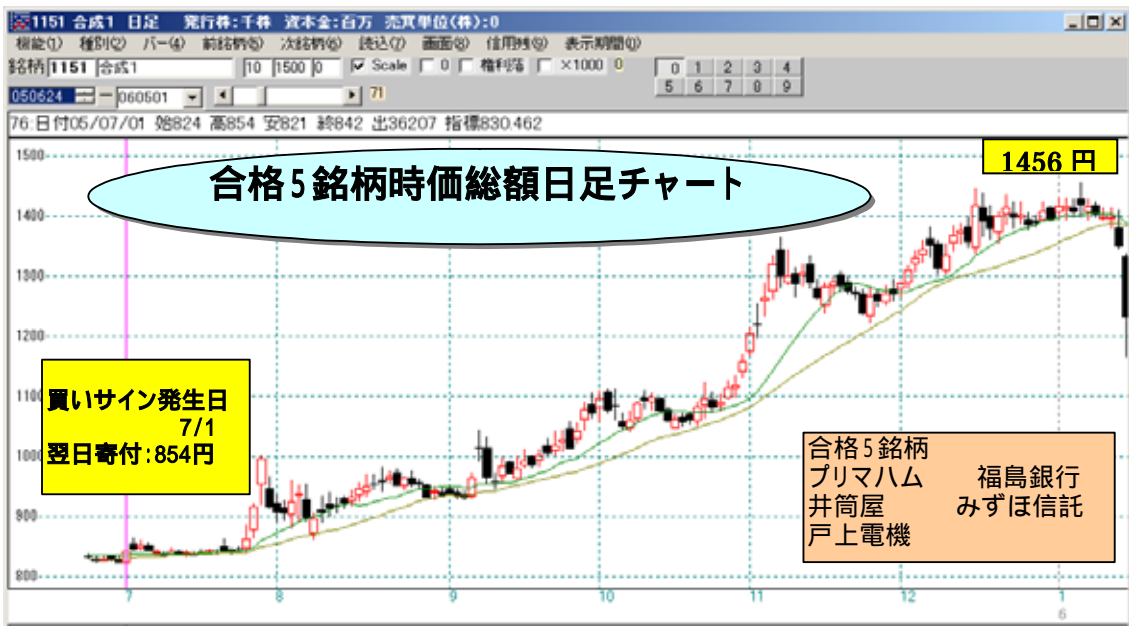


個別銘柄の選び方は前にも解説したように、やり方を聞くと拍子抜けするような簡単な手法を使っております。しかし、実際問題として、このタイミングでこの時期このような銘柄を誰がやっても同じ結果になるようシステマティックな手法で買うことの出来た投資家が何人いたでしょうか？

2005年6月15日の例



2005年7月1日の例



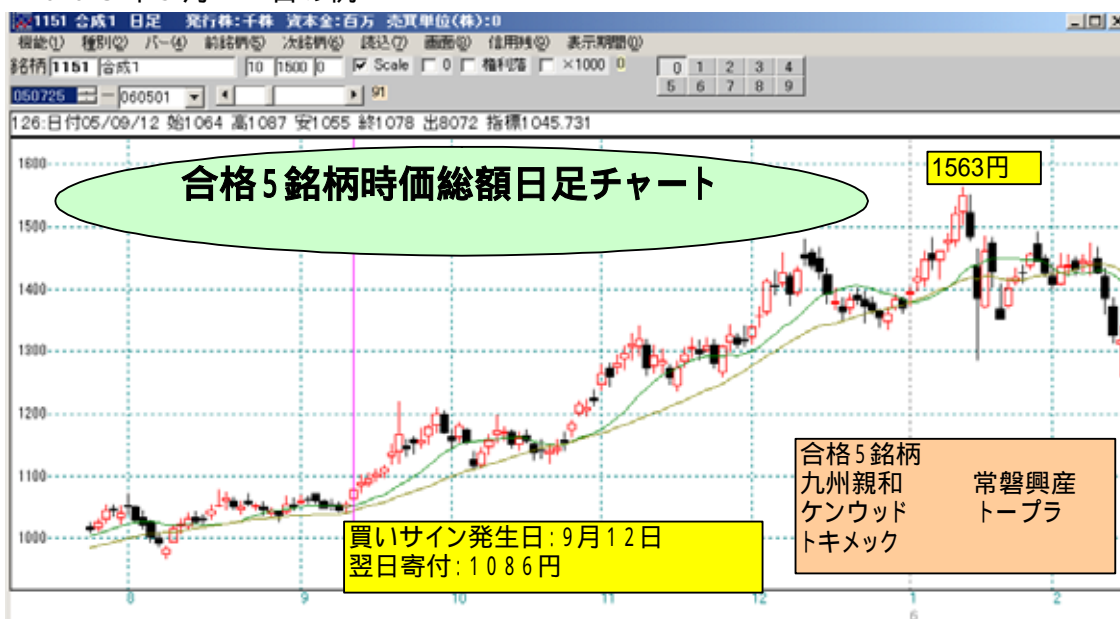
全ての買いポイントで嘘のようなみごとな買いポイントをとらえています。
この手法が下記のような超原始的な手法に基づくものであり、過去においてもこの方法で驚くような成果を上げてきた投資家が沢山いるという事実を貴方はどう考えますか？

買い銘柄の決定法

平均株価が買いポイントにきたときのみ買いにでる

その日に3日周期ハイ・ロー・バンドが買い転換した銘柄の中から株価の安い順に5銘柄のみ選択し、翌日の寄付きで買う

2005年9月12日の例



こんなに単純で簡単に儲かる方法があるのに多くの投資家は
何故、複雑で非科学的な投資法の研究にはまり込み損をし続
けるのか次回は投資家真理の面からこの点を考えてみたいとお
もいます。